

デジタル市役所推進室

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
II-3-(2)-② ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	1	⑪ ⑫	<新>職員の「意識・しごと・働き方」改革推進事業	デジタル市役所推進課	職員の「意識改革」「しごと改革」「働き方改革」を三本の柱として、デジタル人材育成や、業務分析による業務のあり方の見直し等に取り組み、市役所のDXを推進する。	「北九州市DX推進計画」に基づく取組の推進	目標				計画の着実な推進								「北九州市DX推進計画」の取組状況を検証するため、有識者による（仮称）「北九州市DX推進懇話会」を開催する。 さらに職員のDX研修、市民への広報・PR、ペーパーレスの推進などに取り組む。 また、デジタル人材育成や、業務分析による業務のあり方の見直し等に取り組み、市役所のDXを推進する。		「北九州市DX推進計画」に基づき、デジタル技術の徹底活用により、行政サービスや市役所業務を抜本的に見直す市役所のDXを推進するため、「意識改革」「しごと改革」「働き方改革」を三本の柱として取組を進め、計画のミッションである「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現を目指す。
	2	⑤ ⑧ ⑩	市職員のテレワーク推進	デジタル市役所推進課	職員の多様で柔軟な働き方の実現を目指し、モバイル端末の配備など、テレワーク推進のための環境整備を進める。	テレワーク実施率（各職員が月1回以上実施）	目標		テレワークの実施	テレワークの実施	本庁部署におけるテレワーク実施率80%（R7年度）			増額	6,400				テレワーク推進のためのフリーアドレスの実証等を行う。 また、モバイル端末の徹底活用により、ペーパーレス化を推進する。		
II-3-(2)-④ 女性の活躍推進	3	⑤ ⑧ ⑩	市職員のテレワーク推進	デジタル市役所推進課	職員の多様で柔軟な働き方の実現を目指し、モバイル端末の配備など、テレワーク推進のための環境整備を進める。	テレワーク実施率（各職員が月1回以上実施）	目標		テレワークの実施	テレワークの実施	本庁部署におけるテレワーク実施率80%（R7年度）			増額	6,400				テレワーク推進のためのフリーアドレスの実証等を行う。 また、モバイル端末の徹底活用により、ペーパーレス化を推進する。		モバイル端末の徹底活用等、テレワーク推進のための環境整備に引き続き務めるとともに、性別にかかわらず職員が能力を発揮し、いきいきと活躍できる職場の実現を目指す。

デジタル市役所推進室

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										
Ⅲ-1- (3)-④ 高度情報社会 への対応	4	⑪ ⑪	<新>職員の 「意識・しごと・働き方」 改革推進事業	デジタル市役所推進課	職員の「意識改革」「しごと改革」「働き方改革」を三本の柱として、デジタル人材育成や、業務分析による業務のあり方の見直し等に取り組み、市役所のDXを推進する。	「北九州市DX推進計画」に基づく取組の推進	—	目標	計画の着実な推進	計画の着実な推進	—	—	30,000	—	6,400	—	「北九州市DX推進計画」の取組状況を検証するため、有識者による（仮称）「北九州市DX推進懇話会」を開催する。 さらに職員のDX研修、市民への広報・PR、ペーパーレスの推進などに取り組む。 また、デジタル人材育成や、業務分析による業務のあり方の見直し等に取り組み、市役所のDXを推進する。	—	デジタル技術の徹底活用により、行政サービスや市役所業務を抜本的に見直すDXを推進し、「北九州市DX推進計画」のミッションとして掲げる「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現を目指すしていく。	
	5	⑪ ⑪	<新>AI・RPAによる業務改革事業	デジタル市役所推進課	業務の抜本的改革に取り組むため、AIやRPA、ローコードツール等の新たなデジタル技術を積極的に活用する。	事務作業時間の削減	—	目標	事務作業時間の削減	事務作業時間100,000時間削減（R7年度）	—	—	50,000	—	5,400	—	AIやRPA、ローコードツール等を活用することにより、業務の抜本的な見直し、改善を行っていくとともにデジラボによるデジタル事務の集中処理で各区局の共通業務の集約を進め、行政運営の効率化や市民サービス向上を目指す。	—	デジタル技術の徹底活用により、行政サービスや市役所業務を抜本的に見直すDXを推進し、「北九州市DX推進計画」のミッションとして掲げる「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現を目指すしていく。	
	6	⑪	デジタルデバイス対策事業	デジタル市役所推進課	デジタル機器の操作に不慣れな方であっても、デジタル技術の活用による恩恵を享受できるように、啓発等の取り組みを進める。	市民のインターネット利用率	75% (R2年度調査)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	85% (R6年度)	—	2,000	8,000	増額	6,400	—	デジタル活用セミナー、デジタル活用相談会を開催し、スマートフォンなどデジタル機器に不慣れな方が利用できるようになるための取組を推進する。	—	デジタル技術の徹底活用により、行政サービスや市役所業務を抜本的に見直すDXを推進し、「北九州市DX推進計画」のミッションとして掲げる「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現を目指すしていく。
	7	⑪	手続きオンライン化推進事業	デジタル市役所推進課	市民サービスの向上、市役所業務の効率化に向けて、行政手続きのオンライン化を推進するもの。	行政手続きのオンライン化	—	目標	手続きオンライン化の着実な推進	手続きオンライン化の着実な推進	対象となるすべての手続きを原則オンライン化（R7年度末）	—	24,200	6,000	減額	20,950	—	集中的な支援によりオンライン化の成功事例（モデル事業）を作りその手続きを普及することで市全体のオンライン化や業務改善を効率的に進める。 また、事業者向け手続きオンライン化の促進に向けた調査を行う。	—	デジタル技術の徹底活用により、行政サービスや市役所業務を抜本的に見直すDXを推進し、「北九州市DX推進計画」のミッションとして掲げる「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現を目指すしていく。